

日本福祉大学通信教育部「スウェーデン研修」研修のご紹介

- (1) 2018 年度の研修は、スウェーデン南部のエンゲルホルム・コミュニティで行いました。日本からフィンランドのヘルシンキを経由し、デンマークのコペンハーゲンに向かいます。合計 12 時間程度のフライトの後、デンマークからはバスで、スウェーデンのエンゲルホルムに移動します。最終日は、スウェーデンのストックホルムからヘルシンキ経由で帰国します。



- (2) 研修は、現地視察ならびに視察後のセミナー形式の講義で構成されています。



視察先へは主に専用バスで移動します。



2018 年度は、高齢者、障害者、児童に関連する施設を視察しました。



エンゲルホルムのコミュニティ（基礎自治体）の社会局では、スウェーデンの社会サービス行政についての説明を聴きました。スウェーデン語での説明は訓覇先生により日本語に訳され、学生からも日本語で質問をすることができます。



視察後に毎日行われたセミナー形式の講義の様子。グループ討議で学びを深めています。



講義は宿泊先で行ないます。宿泊先の食事はビュッフェ形式で、新鮮な食材で調理されたスウェーデン料理を味わうことができます。

(3) 最終日はストックホルム市内を観光します。専用バスでの市内を巡った後、自由行動の時間が設けられています。

